



タチウオ

主な漁業と漁期

釣り、定置網：周年

生態

●分布・回遊

タチウオは全世界の温帯海域に広く分布し、日本近海では北海道南部以南に分布しています。瀬戸内海や東シナ海では季節により回遊することが知られています。

●成長

海域によって差がありますが、通常1歳で肛門前長20～24cm、2歳で28～30cm、3歳で31～36cm程度に成長します。雌は雄より成長が良く、また春季発生群が秋季発生群より早いとされています。寿命は6、7歳とされています。

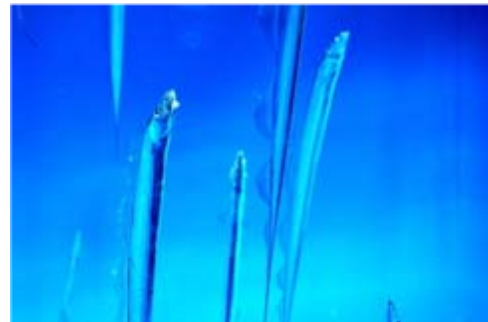
●成熟・産卵

1歳で40%前後が成熟し、2歳魚では80%以上が成熟します。駿河湾の産卵期は7～11月、盛期は9月で、他海域では紀伊水道、熊野灘は4～11月、東海・黄海産は5～7月となっています。

産卵盛期は春と秋に分かれ、東シナ海および紀伊水道では春生まれが多いとされています。産卵場所は沿岸の砂泥域の水深50～70mの中・底層とされています。

●食性

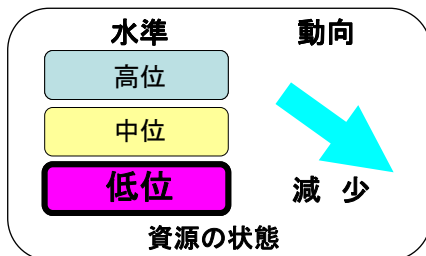
稚魚は動物プランクトンを、未成魚はオキアミ類やアミ類などの甲殻類を主餌料としています。成魚は魚食性の傾向が強くなり、特にイワシ類、サバ類、アジ類、サイウオ類などを多く捕食します。



タチウオの泳ぐ姿

漁業・資源動向

【資源】



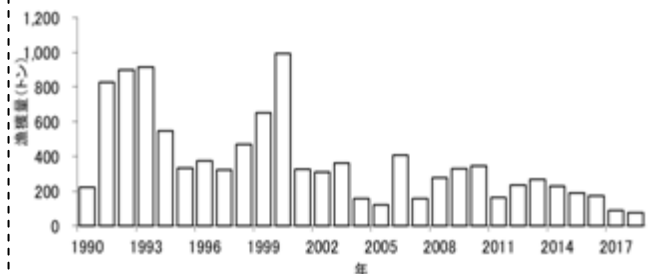
県内のタチウオは、主に定置網と釣りで漁獲されています。

資源状況は、比較的漁獲努力量が安定している定置漁業から判断しました。駿河湾内の大型定置網での漁獲量の推移から資源水準は低位、動向は減少と判断されます。

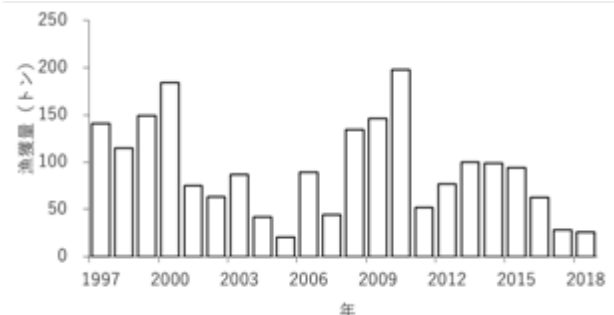
【漁獲量】

1 県内の主要港(22港)の漁獲量は、1991～1993年には800トン以上、2000年には1000トン以上ありましたが、2001年以降は2006年の407トンを除き400トン以下で推移し、2017年、2018年は100トン以下となっています。

2 駿河湾内の大型定置網の漁獲量は、かつては150トン以上ありましたが、近年は100トン以下で推移し、2017年、2018年は20トン台となっています。



静岡県主要港(22港)のタチウオ漁獲量の推移



駿河湾の大型定置網におけるタチウオ漁獲量の推移

担当者の一言：タチウオ名前の由来は、太刀(たち)に似ているからとも立って泳ぐからともいわれています。

問合せ先

静岡県水産・海洋技術研究所資源海洋科 054-627-1817